

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【公開番号】特開2020-28300(P2020-28300A)

【公開日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2019-201128(P2019-201128)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/6869	(2018.01)
C 1 2 Q	1/48	(2006.01)
C 1 2 Q	1/6886	(2018.01)
C 1 2 Q	1/6876	(2018.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 K	31/585	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	16/40	(2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q	1/6869	Z N A Z
C 1 2 Q	1/48	Z
C 1 2 Q	1/6886	Z
C 1 2 Q	1/6876	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	P
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/585	
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/574	A
C 1 2 N	15/113	Z
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/40	

【手続補正書】**【提出日】**令和2年3月6日(2020.3.6)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

がんが疑われるヒト又はがんを有するヒトから採取したサンプル中のPIK3CAポリヌクレオチドの変異検出結果を提供する方法であって、

前記変異が、PIK3CAポリヌクレオチドの配列をシーケンサーで解析することにより検出された変異であり、

前記変異が、C112T, G113A, G263A, C311G, G317T, G323C, del332-334, G353A, G365A, C370A, T1035A, G1048C, T1132C, T1258C, G1357C, 1616G, G1624A, A1625G, A1625T, G1633A, A1634G, G1635T, C1636A, A1637C, C1981A, A2102C, G2702T, T2725C, T3022C, A3073G, C3074A, G3129T, C3139T, A3140G, A3140T, およびG3145Aからなる群より選択される少なくとも1の変異である、前記方法。

【請求項2】

p 1 1 0 阻害剤治療の候補患者を同定する方法であって、

がんを有するヒトから採取したサンプル中のPIK3CAポリヌクレオチドに変異がある場合は、前記治療の候補とすることを特徴とし、

前記変異が、PIK3CAポリヌクレオチドの配列をシーケンサーで解析することにより検出された変異であり、

前記変異が、C112T, G113A, G263A, C311G, G317T, G323C, del332-334, G353A, G365A, C370A, T1035A, G1048C, T1132C, T1258C, G1357C, 1616G, G1624A, A1625G, A1625T, G1633A, A1634G, G1635T, C1636A, A1637C, C1981A, A2102C, G2702T, T2725C, T3022C, A3073G, C3074A, G3129T, C3139T, A3140G, A3140T, およびG3145Aからなる群より選択される少なくとも1の変異である、前記方法。

【請求項3】

前記変異が、がん患者から取得されたサンプル中に見られる、請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

前記変異が、前記サンプル中のPIK3CAポリヌクレオチドを増幅し、増幅されたPIK3CAポリヌクレオチドの配列をシーケンサーで解析し、解析によって得られた配列と野生型PIK3CA遺伝子配列と比較することにより検出された変異である、請求項1～3のいずれかに記載の方法。